

ティールーム

“昔はよかったな～”と思うばかりでは寂しくなってきますが、昔も今も変わらない元気のでるものがあります。

それは、毎年6月に開催される“伊勢えび祭”と10月開催の“神祭”です。伊勢えび祭は、昭和36年より、黒崎海岸で、伊勢エビ禁漁時期の6月に、海への感謝と豊漁を願って始めました。平成3年より、大矢浜海水公園に場所を変えて開催され、その後じゃこっぺや、伊勢えび御輿のパレード、また平成3年には、紅白歌合戦の鳥羽一郎さんのバックで“伊勢えび御輿”が大活躍！49回では、稲川淳二さん



が盛上げ隊長として、参加してくれたり、年々大きくなり、県内外よりたくさんの方が来てくれるようになりました。伊勢えび祭りは今年で57回目となり、志摩市の祭りとして発信中です！



もう1つの神祭ですが、宇気比神社の秋祭り

祭りで、神社から浜島音頭の生演奏で道中踊りがありました。私が中学3年の時、最後の道中踊りとなりましたが、40年後の平成26年に御輿と共に復活！商店街を道中踊りと神輿がパレードします。かつてのメインストリートに浜島音頭の歌詞で、♪明日の浜島大繁盛～♪と響きます！道の両側に椅子



に座って見ているおじいちゃん、おばあちゃん。“ソーレ”と掛け声をかけてくれるおばちゃん。みんな嬉しそう!! “10年若かったら踊るのに”とか、“あー若返ったわ” “また来年も踊ってえな～”と、みんな喜んでくれました。ほんと、祭りは町を元気にしてくれますね。だから人口は減っても、町は元気でいたいものです。

最近では伊勢志摩トライアスロンやビーチサッカーなどのスポーツイベントの開催や、また、カップ麺のテレビCM（伊勢エビラーメン）のロケ地（浜島港）にもなって、またふるさと自慢が増えてうれしいです。

私も年々、ふるさとを思う気持ちは強くなり、おじいちゃん、おばあちゃんになっても楽しく暮らせるように、私も、元気な町づくりに参加したいと思います。

